

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校給食調理委託				所管	教育委員会 学務課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和 6 1 年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	その他	[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	区立小学校在籍生徒							
	事業目的	区立中学校の学校給食調理業務の合理化を図る。							
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 調理業務及び洗浄・清掃業務の民間委託 委託料の適正化を図るため、6年毎に委託の見直し(再入札)を実施 							
委託の有無	一部委託	委託内容	調理業務及び洗浄・清掃業務						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	委託実施校	(校)	7	7	7	7		
		委託業者見直し校	(校)	1	2	1	2		
	成果指標								
	決算額	(単位：千円)			151,213	145,710	145,663		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,800	1,666	1,704		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			151,214	145,711	145,663		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			153,014	147,377	147,367		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0				
一般財源(区負担額)			153,014	147,377	147,367				
前年度から改善した事項	引き続き見直し入札等を行い、委託経費が適正となるよう努力した								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	調理業務の合理化が図られている。また、安心して安全な給食の提供のため、行政が関与し、委託の適正性を確保する必要がある。						
	効率性	3	給食の質の低下にならないようコスト、効率性の管理が必要である。						
	手段の適切性	4	経費節減に伴い、献立の多様化(米飯給食回数増、バイキング給食、リザーブ給食等導入)にも対応できている。						
	目的達成度	4	適切に見直しが行われている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
委託経費の適正化を図りながら、今後も給食の質の維持と、安全で安心な給食の提供に努めていく。						維持			